

市民の「情報発信」と「交流」の場に

「JICA地球ひろば」では、市民が企画する展示会、バザー、報告会、セミナー、語学教室などの各種イベントのためのスペースを貸し出している。テレビ会議システムも利用できるセミナールームや大型スクリーンのある講堂(約300人収容)、企画展示・掲示板スペース、宿泊施設(55人まで対応)など、用途に合わせてさまざまなスペースの利用が可能だ。詳細は「JICA地球ひろば」まで。

JICA地球ひろば

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-24
(東京メトロ日比谷線広尾駅A3出口徒歩1分)
TEL: 03-3400-9426 FAX: 03-3400-7394
Email: chikyuhiroba@jica.go.jp
URL: http://www.jica.go.jp/hiroba

開館時間(月曜定休)

- ▶貸し出しスペース 9:30~21:30
- ▶展示・相談スペース 10:00~20:00(平日) 10:00~18:00(土・日・祝日)
- ▶カフェ・フロンティア 10:00~22:00(平日・土) 10:00~18:00(日・祝日)

<展示・相談スペース>



●世界の課題を知る

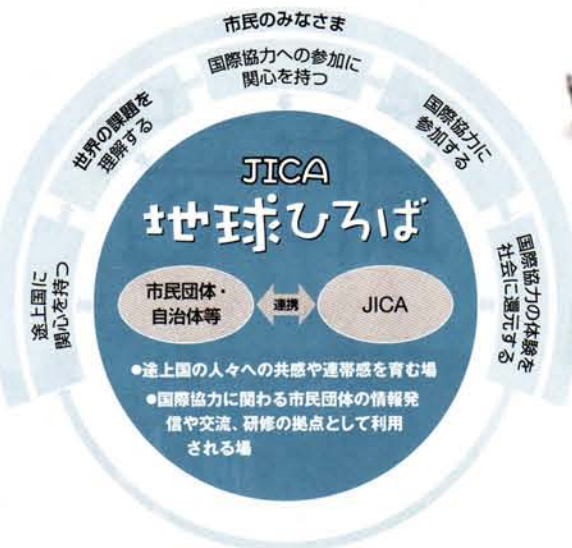
●地球のいまを知る

●世界の人の気持ちを感じる

●途上国の人のくらしを一緒に考える

<市民参加のサイクル>

「JICA地球ひろば」は国際協力への市民参加を応援



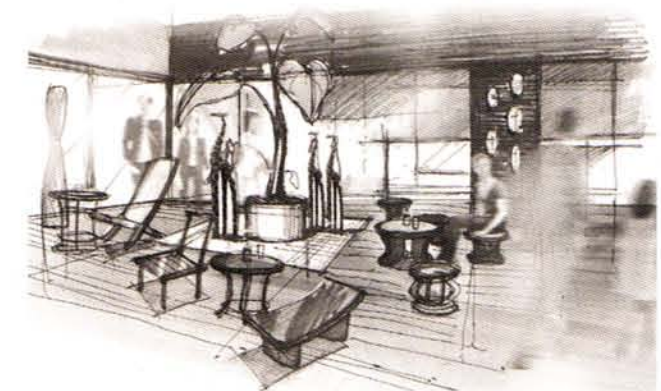
JICA's Reform II

市民参加の促進

市民参加協力の拠点 「JICA地球ひろば」 をオープン!

4月1日、市民の国際協力を全国的に推進する拠点として「JICA地球ひろば」が東京都渋谷区広尾にオープンした。展示やイベント、研修など、市民の国際協力を応援するためのさまざまなメニューが用意されている。

<カフェ・フロンティア>



異国情緒あふれる空間で海外の庶民の味を提供

日本と途上国を結ぶ懸け橋に

「世界の人たちはどんな暮らしをしているの?」「国際協力って、私にもできるの?」「ボランティア仲間を増やしたい」。そんな市民の「国際協力したい・知りたい」をJICAが応援する場所「JICA地球ひろば」が4月1日、東京都渋谷区広尾にオープンした。

2003年10月の独立行政法人化に伴い、組織改革を進行中のJICAは、現在、「在外主管」に続く改革の第2弾「国内事業改革」を推進している。「JICA地球ひろば」の開設はその一環で、これまでJICA広尾が実施していた青年海外協力隊の訓練業務をJICA駒ヶ根とJICA二本松に集中させ、JICA広尾は「JICA地球ひろば」として、JICAの市民参加協力事業の拠点とするために、施設の改修と組織改編を行った。

「JICA地球ひろば」が目指すのは、国際協力への市民の「関心が高まる」理解が進む「行動を起こす」海外での活動に参加する「協力体験を社会に還元する」関心が高まる「…」という市民参加のサイクルを実現し、ここを日本と途上国を結ぶ懸け橋の場にする。JICA地球ひろば所長の草野孝久さんは「国際協力は援助を受ける側(＝途上国)だけでなく、協力する側(＝日本)の社会にとっても重要な意味があります」と話す。

具体的には、これまでJICA東京およびJICA八王子が行ってきた関東圏の開発教育の支援、国際協力理解イベントの開催、JICAボランティア(青年海外協力隊、シニア海外ボランティア、日系ボランティア)や草の根技術協力への応募相談と実施支援のほか、国際協力総合研修所が実施してきたNGOや自治体のスタッフ研修をJICA地球ひろばで行い、こうした活動を通じて市民の理解・参加・実施を支援していく。加えて、JICAボランティアの帰国時研修やボランティアで培った経験の社会還元研修などを行う。さらに、市民の声を調査・分析した上でさまざまな情報を全国に発信していく。ここを拠点に、国際協力に参加する人々が増えること、そして、市民による国際協力が途上国の人々のもとへより確実に届くことが期待されている。

市民への発信と市民からの発信のために

1階施設のメインとなる「展示・相談スペース」では、途上国の暮らしの現状や地球が抱える問題、国際協力の実際などについて映像や造形物で展示し、海外経験豊かなスタッフ、地球案内人が案内・説明する。2、3階では、修学旅行や課外学習などの学生を対象に開発教育プログラムを実施するほか、NGOなど市民団体や自治体、大使館などの共催で、国際協力理解活動、開発教育指導者セミナー、ボランティア報告会などを行う。

また、国際協力に携わる市民団体の企画や展示、イベントなどのために企画展示場やセミナールーム、講堂、掲示板、宿泊施設など、希望者に貸し出すスペースも多く設けられている。利用者は「カフェ・フロンティア」の異国情緒あふれる空間で海外の庶民の味が楽しめ、「食」を通じた異文化体験ができる。館内でのセミナーや集会へのケータリングも可能だ。